

# 活動レポート

## エンジョイ・サイエンス研究会活動報告

文責：エンジョイ・サイエンス研究会 小山田応一

### 「面白く伝える、語る」何と難しい!!

#### 1. 肩書きは通用しない…

仕事に関係のない状況で自己紹介したところで「技術士」なんて知らない、聞いたことがないなんて言われることは珍しくもないという方が殆どでしょう。それでも「〇×の専門家」と名乗れば少しは敬意をはらって話を聞いてくれるものです。しかし、エンジョイ・サイエンス研究会の相手である子ども達(主に小学生)はそんな肩書きなんぞ通用しません。授業や講義を始めると対面当初こそは、大人に対する態度(躰)で話を聞いてくれていますが、面白くなければ彼らにとっては苦痛の時間でしかありません。上から目線で専門用語を連発しようものならさあ大変、冷めた空気をどうしようか本当に焦ります。そこは学会や会社、大人相手のプレゼンの場ではないのです。子ども相手に意味もなく見栄を張ろうとしても空しくなるだけです。そこでやっと気が付きます。別に子ども達から尊敬を受けたかった訳ではない、「科学や技術の楽しさを伝えたかった」だけだ。しかし、それが如何に難しいことかと。

私は技術士になってから、多くの部門の人に会いました。その中で、自分の専門分野について嬉しそうに語ってくれるのは地質や環境、生物関係の方々くらいで少数派です。残念ながら多くの方は業界のことは面白くお話してくれるのですが、子ども相手には「教える」でも「指導する」でもなく、ましてや「発表する」のではないのです。そう、「面白く伝える、語る」なのです。

とは言ってみたものの、「面白く伝える、語る」ための術を自己研鑽として「技術士活動」の中に位置づけるのもじっくりしません。義務感からではなく自発的に活動するために自分が納得できる動機付けが必要です。私の場合は、工学系の面白さをオリジナ

ルネタで伝えようと努力しています。

前置きが長くなりましたが、平成24年度前半のエンジョイサイエンス研究会(通称ES研究会)で私に関わった活動について報告します。

#### 2. 活動報告

##### ①永久ゴマ

開催場所 北広島児童センター

開催日 平成24年6月11日

「永久」は成功率50%くらいでした。オプションで好きな模様をコマに描くというのがうけていました。



写真-1 コマの製作 小山田技術士

##### ②白石区月寒川にぎわい川まつり

開催場所 白石区土木センター

開催日 平成24年7月21日



写真-2 自転車発電機 鳥谷部技術士

50W分の高輝度LEDは点灯しがいがあったようです。



写真-3 太陽電池駆動シャボン玉製造機 小山田技術士

子どもにはシャボン玉しか目に入らないようでした。

### ③寿都自然体験サバイバルキャンプ

開催場所 寿都

開催日 平成24年8月10日～8月11日



写真-4 海洋生物探索 板谷技術士

20 cm のなまこ、ウニがいる豊かな海の実習でした。



写真-5 寿都自然体験サバイバルキャンプ  
昆虫観察 実習 木野田特別講師  
虫だらけ…。



写真-6 寿都自然体験サバイバルキャンプ  
昆虫観察 講義 木野田特別講師

夜 10 時になるのに元気一杯、興味津々。

木野田特別講師は、ベストセラー「札幌の昆虫」の執筆者です。



写真-7 空気砲で遊ぼう！ 佐藤技術士  
最後は遊びで楽しく終了。

日本は、先進国中 GDP に占める教育予算が最低です。さらに教育現場では理科を教えられる先生が不足しているので授業がないのが「理科離れ」を加速しています。「国家百年の計」が見えないのなら、せめて身近でできることから取り掛かろうではありませんか。